

北日本新聞八月十五日一面の富山西町南再
開発ビルの記事を読んで

蜻川小学校 六年 小川 伊織

ぼくは新聞の記事に見覚えのある写真を見
つけました。それは旧富山大和跡地の大きな
ビルの写真で、そこにはたくさんの人が写っ
た工所用パネルがあります。桜を見に行っ
た時や山王祭に行った時に、そのパネルをよく
見ていたので覚えていきます。工事中でまだよ

く見えなかつたのに、もうこんな立派な建
物ができていたとは思いませんでした。外
へきにはガラスやアルミ、みかげ石を使用し
たざん新デザインだそうです。この写真が
どの程度の仕上がりなのか気になるけれど、
記事を読むと、来年の八月下旬にガラス美術
館と図書館ができる予定みたいで、今からと
ても楽しみです。夜には歩道のはしに投光器
を設置し、地面からビルを照らし出す案が出
ていると書いてあります。富山の街を明るく、

にぎわいのあるふん囲気にするために、設計
の人や、たくさんの人達がこの富山の市街地
について構想を練っておられるのだな」と感
じました。ガラス美術館がどんな美術館なの
かも気になります。来年の春には北陸新幹線
も走るし夏にはこんなきれいな美術館や図書
館などもできれば富山ももっとたくさんの人
が訪れてにぎやかになりそうだな」とわくわ
くします。ぼくのお父さんが子供の頃は、西
町はとこもにぎわっていて、人がたくさん歩
いていた街だと聞いています。最近是人通り
も少なくなってきたているらしいので、またそ
の頃のように、にぎわいが戻ればいいな」と
思います。

光の演出でにぎわいを

富山・西町南再開発ビル

ライトアップ 構想浮上 集客力向上 を図る

富山市ガラス美術館(仮称)や市立図書館本館が入る西町南地区再開発ビルについて、来春の完成後に外壁をライトアップする構想が浮上していることが分かった。旧富山大和跡地(富山市西町)で整備が進む再開発ビルは、まちなかの新たなランドマークとしてにぎわい創出の核になると期待されている。図書館本館の早朝開館やガラス美術館も含めた夜間開館も検討されており、ライトアップが実現すれば朝から夜まで集客力のある施設となる。

再開発ビルは西町南地区市街地再開発組合(河上彌一郎理事長)が建設を進めている。地上10階、地下1階建てで、一体的に整備するガラス美術館と図書館本館を公益施設とする。位置付け、富山第一銀行本店も入る。公益施設は1階西側と2、6階、富山第一銀行は1階東側と7、10階に配置する。ビルは来春完成し、ガラス美術館と図書館本館は来年

8月下旬の開館を目指す。ビルの設計は、世界的に活躍する建築家で市政策参与の隈研吾氏らが手掛けた。外壁にはガラスとアルミ、御影石の大きさが異なる縦長パネルを使用。縦線が入っていた旧富山大和の外壁をイメージさせるデザインで、富山第一銀行本店と同じ御影石も用いることで、富山の伝統的な風景

を引き継ぐ形となっている。ライトアップは、歩道の端に投光器を設置し地面からビルを照らし出す案が持ち上がっている。斬新なデザインのビルをライトアップすることで、日中と異なった表情を醸しめることになる。市は、図書館本館の新聞、雑誌閲覧コーナーを早朝から開館する方針で、朝早くから散歩や運動で出歩く高齢者が少ない

ため一定の需要があるとみている。さらにガラス美術館と図書館本館の閉館時間については金曜日曜は午後8時とし、夜間も来館しやすいようにする方向で検討している。市は「旧富山大和は多くの市民にとって子どものころから親しんだ心のよりどころだった。同じ場所に整備する再開発ビルは新たなランドマークになる」とし、早朝と夜間の開館、ライトアップによる相乗効果に期待している。



来春の完成に向けて建設工事が進む西町南地区再開発ビル。ライトアップ構想が浮上している＝14日、富山市の西町交差点

